府中二中だより

令和６年度
４月 10 日発行
令和６年度スタート号
府中第二中学校
校長　成清敏治
電話　361-9302

令和６年度スローガン　「笑顔満開の学校」

令和６年度始業式（４月８日）

新学期がスタートしました。皆さん、どのような思いでここにいるでしょうか。新しいクラスを見て、様々な感情が溢れていると思います。またこれから担任が発表されて、どんな １ 年になることか頭の中を巡ることでしょう。現実は現実です。修了式の際に**「学年が上がる意味を考えよう」**と声をかけました。その日から学年が１つ上がり、意識が変化することがまずは大事なことです。そして、学年が上がることで責任も変わります。どんな振る舞いがその学年にふさわしいかを考えて、日々の学校生活を充実させてください。

４ 年前の ４ 月 ７ 日、新型コロナウイルス感染症で初の緊急事態宣言が発令されました。学校が休校になり、世の中に閉塞感が広まりました。昨年の ５ 月に扱いが ５ 類になり、ほぼコロナ前の元の状態に戻ったように思われます。しかし約３年に及んだ「行動変容」は今でも様々なところに影響を残しています。

政府が昨年 12 月に実施した全国調査で「孤独感がある」と回答した人の割合が ４ 割もいました。この数字はコロナの渦中に行った調査と同じ数字だとのことです。実はコロナが明けても、人との対話が少なくなり、気軽に相談できる人間関係が構築できていない、そんな結果が表れています。また後遺症によって苦しむ人が多くいることもわかっています。流行の波もあり、まだまだ安心できない状況であることは事実です。皆さんの生活でもマスクが切り離せない人が多数います。当然、学校は集団生活ですから、予防を含め感染症に注意する必要があります。しかし、人間が本来大事にしてきた「対話」や「思いやり」まで、ウイルスの影響で抑える必要は全くありません。ある哲学者はこう言いました。**『人間は人間の中で成長し、人間の中で教育され人間となっていく』**と。

明日は入学式が挙行され、新 １ 年生 194 名が府中二中の仲間になります。ぜひ、学校全体が笑顔になるように、皆さんの明るい対話で二中を盛り上げてください。そして、今の学年で最高の思い出を作れるように、皆さんで励まし合い、支え合って学校生活を充実させてください。新しいスタート、しっかり頑張っていきましょう。

第７８回入学式　式辞（４月９日）

１９４名の新入生の皆さん、府中第二中学校への入学おめでとうございます。きっと皆さんは、これから始まる中学校生活への期待と不安を抱えていると思います。しかし、全く心配はいりません。熱心に指導してくださる先生方。そして２年生、３年生の先輩方が様々な場面で力を貸してくれ、お手本を示してくれます。今後、いろんな悩みを抱え、思うようにならず困ってしまう場面もあるかと思います。そんな時こそ遠慮せずに周囲の人に声をかけて相談してください。学校全体で皆さんのことを支えていきます。

今日は大事な中学校生活のスタートです。皆さんに２つの話をしておきます。第一に**「どこまでも自分自身の可能性を信じ抜くこと」**。第二に**「中学校時代に自分の軸を作ること」**です。今年から野球の大リーグで、大谷翔平選手と同じドジャーズでチームの一員となった山本由伸選手の生き方を参考にして、２つの話を進めます。

彼は最近の３年間、オリックスというチームに所属し、圧倒的な成績を残して、日本を代表する投手になりました。しかし体格は、プロ野球選手の平均より劣り、肉体的に恵まれているわけではありません。練習方法も筋トレを行わないなどの独自の方法を生み出しています。そんな彼の拠り所は、高校時代に出会ったスポーツトレーナーの存在でした。その練習方法は、エクササイズを取り入れ、徹底して『自分の身体を知ること』でした。自分の身体と対話して、投手としての身体の使い方を研究し、１番良い状態で身体を作っていく。体幹や身体の軸を作ることに時間をかけ、身体全体を使った投球フォームを模索して、今の「何か変」な投球フォームにたどりつきました。

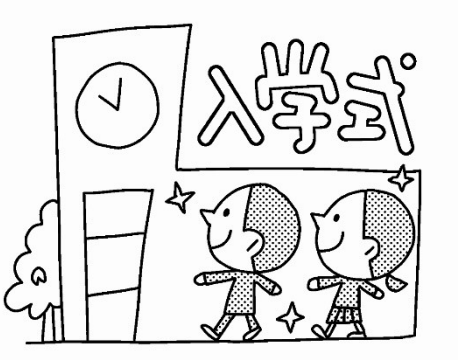
当初、常識に反した練習方法に周囲からは理解を得られませんでした。しかし彼は自分自身を徹底して信じ抜き、自由な発想で夢を追いかけました。彼の夢は「世界に類を見ない投手」になることです。そのために創意工夫した練習を見出し、自分の可能性をあきらめず、今年の大リーグ挑戦になりました。嬉しいことに一昨日、大リーグで初勝利を飾り、これからの活躍が大いに期待できそうです。

皆さんもこれから自分の未来を築いていく、そんな可能性のある人です。**勉強は楽ではありません。しかし自分の将来のため、粘り強く取り組み、自分で創意工夫しながら、自分の道を切り拓いてください。そのためには、まず自分自身を知ることが大事です。**少しずつ視野を広げ、自分が将来社会で活躍できる場所を探していきましょう。

次に中学校時代に軸を作るとはどういうことでしょうか。山本投手のピッチングフォームは独特のものです。身体ができていない中学生がマネをして、肘を痛めるケースが多いそうです。彼は「こうやってボールに力を伝えたい」と取り組んだ結果、そのような投げ方になりました。「この投げ方をすればよい」と思うのはあまりにも安易です。マネをするなら考え方をマネするべきです。山本投手は周囲にアドバイスをもらいながら、自分で考え方を整理し構築する能力が高いと言われています。

これから皆さんも学習や部活動において、周囲から様々なアドバイスをもらう機会があると思います。しかしそれがすべて自分に合うかどうかは別問題です。**自分を知り、自分の力を信じ、自分としっかり対話をしながら、自分に合った方法を探って、最高の自分自身を作り上げてください。**そのためには、中学校時代にブレない軸を作り、単なるマネではなく、考え方をマネすることに全力を注いでください。

最後になりますが、今日この瞬間は二度と戻ってきません。その瞬間を積み重ねていくことが、大きな成果や人生の成功を導いていくことは間違いありません。楽しいこと苦しいことのすべてを心に収め、友人たちとの思いやりに満ちた学校生活を送ることを願ってやみません。皆さんが笑顔で登校し、笑顔で学習し、笑顔で学校生活を送り、笑顔で下校して次の日を迎える、そんな笑顔満開の日々を心から願っています。



結びに、本日から新入生１９４名を迎え、全校生徒・全教職員一丸となって、今までの輝かしい二中の歴史と伝統を大切にしつつ、生徒と教職員、そして保護者と地域が協働して、新たな歴史を築きゆく府中第二中学校をめざしていくことを誓い式辞といたします。